

施設整備部建築設計図書電子データ作成要領

(工事編)

平成12年	4月	制定
平成12年	5月	改訂
平成12年	10月	改訂
平成17年	3月	改訂
平成17年	11月	改訂
平成19年	3月	改訂

川崎市まちづくり局施設整備部

(担当)

川崎市まちづくり局施設整備部

施設保全担当 維持保全班

TEL044-200-2977 FAX044-200-3971

第1章 共通事項

1 目的

本要領は、施設整備部が発注する建築物等の工事の完成図書類を電子データ化するために必要な事項を定める。

2 対象となる工事

原則として、施設整備部が発注する、すべての工事を対象とする。

第2章 図書データ

1 対象図書類

次に定める図書類を対象とする。

(1) 新築・改築・増築・耐震補強・大規模改修工事※

No.	対象図書データ	適用	データ形式
①	完成図面		PDF マルチページ
②	工事内訳書	公表用金入り+金抜き内訳書	PDF マルチページ
③	施工者情報	下請負人選定通知書または現場代理人等届(下請が無い場合)	PDF マルチページ
④	完成図面 CAD データ	着手時にCADデータの提供を受けた工事	SXF(P21)またはDXF形式を圧縮(ZIP形式)フォルダに格納
⑤	機器台帳	指定様式に記入	エクセル
⑥	構造計算書	当初設計から変更があった場合	PDF マルチページ
⑦	設備負荷計算書	当初設計から変更があった場合	PDF マルチページ
⑧	省エネルギー計算書	当初設計から変更があった場合	PDF マルチページ

※大規模改修工事とは計画通知が必要な改修工事、または、「エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネルギー法)」に基づく届出の対象工事とする。

(2) 改修・補修・解体工事

No.	対象図書データ	適用	データ形式
①	完成図面	解体工事は発注図面も含む	PDF マルチページ
②	工事内訳書	公表用金入り+金抜き内訳書	PDF マルチページ
③	施工者情報	下請負人選定通知書または現場代理人等届(下請が無い場合)	PDF マルチページ
④	機器台帳	指定様式に記入 (解体工事を除く)	エクセル

2 図書データ作成の注意事項

- (1) 対象図書データが紙ベースの場合は、スキャナーで取込み PDF マルチページに変換する。
- (2) 対象図書（計算書等）が電子データ（ワード、エクセル等）の場合は、PDF マルチページに変換する。
- (3) 完成図面を CAD データから変換する場合は、原寸で PDF マルチページ変換とし、表紙に監督職員（一般、主任、総括監督員）の氏名を明記することにより押印の代わりとする。
- (4) 完成図面 CAD データは、オリジナル CAD データを SXF(P21)形式または DXF 形式に変換し、圧縮(ZIP 形式)フォルダに格納する。なお、CAD データの作成については、別紙(P. 4～)「電子データ作成基準」による。
- (5) PDF 形式の解像度は 400dpi とする。カラーの図書(写真等が含まれるもの)はグレースケール解像度 400dpi とする。
- (6) すべての図書データについて、変換後に問題が無いことを工事請負者が確認すること。

3 ファイルの名称

- (1) 対象図書データのファイル名称は、図書データ 1 種類につき 1 つとし、別紙(P. 4～)「電子データ作成基準」に基づき作成する。
- (2) 登録可能拡張子 .pdf .zip.xls

第3章 データの構成及び内容

- 1 データの構成は、対象図書類に記載されている「図書データ」と、データ管理用の「検索データ」により構成する。以下の基準により作成した「図書データ」と「検索データ」を同一の「data」フォルダに格納し、CD-R 等に収納する。
- 2 「図書データ」は前章により変換された電子データとし、各ファイル名称は、別紙(P4～)「電子データ作成基準」による。
- 3 「検索データ」はデータ管理用に次の内容を記載する。なお、データ形式は CSV 形式とし、ファイル名称は index.csv とする。

(1) 検索データの記載項目

- ① ファイル名称 ②所管局名 ③施設名 ④工事名 ⑤所在地 ⑥施設用途
⑦工事内容 ⑧工事種別 ⑨着工年 ⑩完成年 ⑪施設コード ⑫図面名称
⑬ページ番号

※詳細は別紙(P4～)「電子データ作成基準」参照

第4章 電子データの提出方法

1 提出媒体

- (1) 提出媒体は、640MB 以上のコンパクトディスク(CD-R)とし、ISO9660 レベルに対応したフォーマットとする。なお、CD-R にデータが収まらない場合は

DVD-R での提出とする。

- (2) 提出する CD-R は、提出時点での最新定義によるウイルスチェックをおこなう。
- (3) 提出する CD-R のラベルには、工事完成年（西暦）、工事名、請負者名およびデータ作成業者名を明記し、決裁欄を設ける。（図 1）参照



2 提出時期

- (1) 工事完成検査後に工事請負者がデータ化し、速やかに監督職員に提出する。
- (2) 監督職員は電子データ受領後、速やかに施設保全担当維持保全班に提出する。

3 その他

- (1) 提出した電子データに異常があった場合は、請負者において速やかに修正すること。
- (2) 提出された電子データの著作権は川崎市に帰属するものとする。

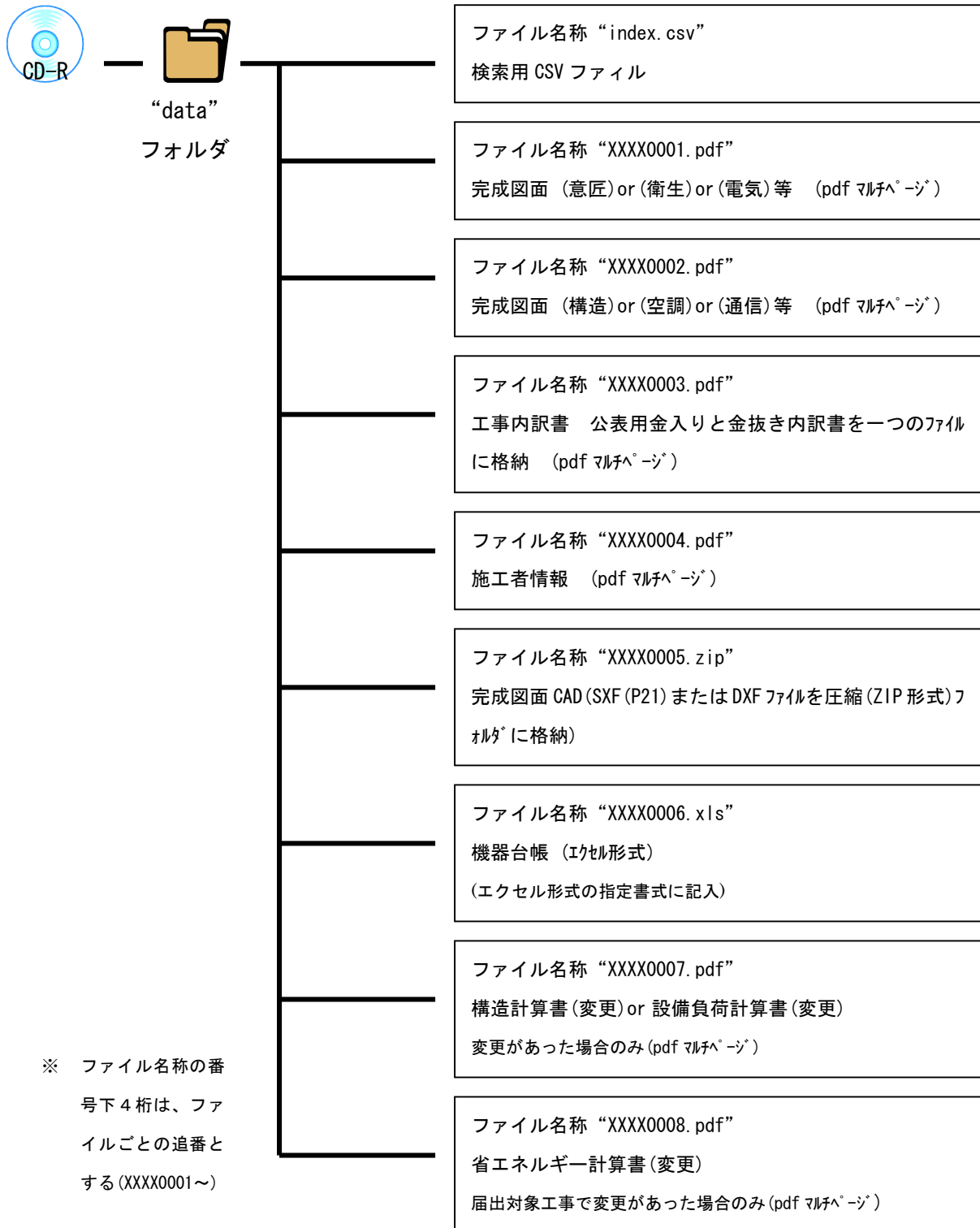
(附則)

この作成要領は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

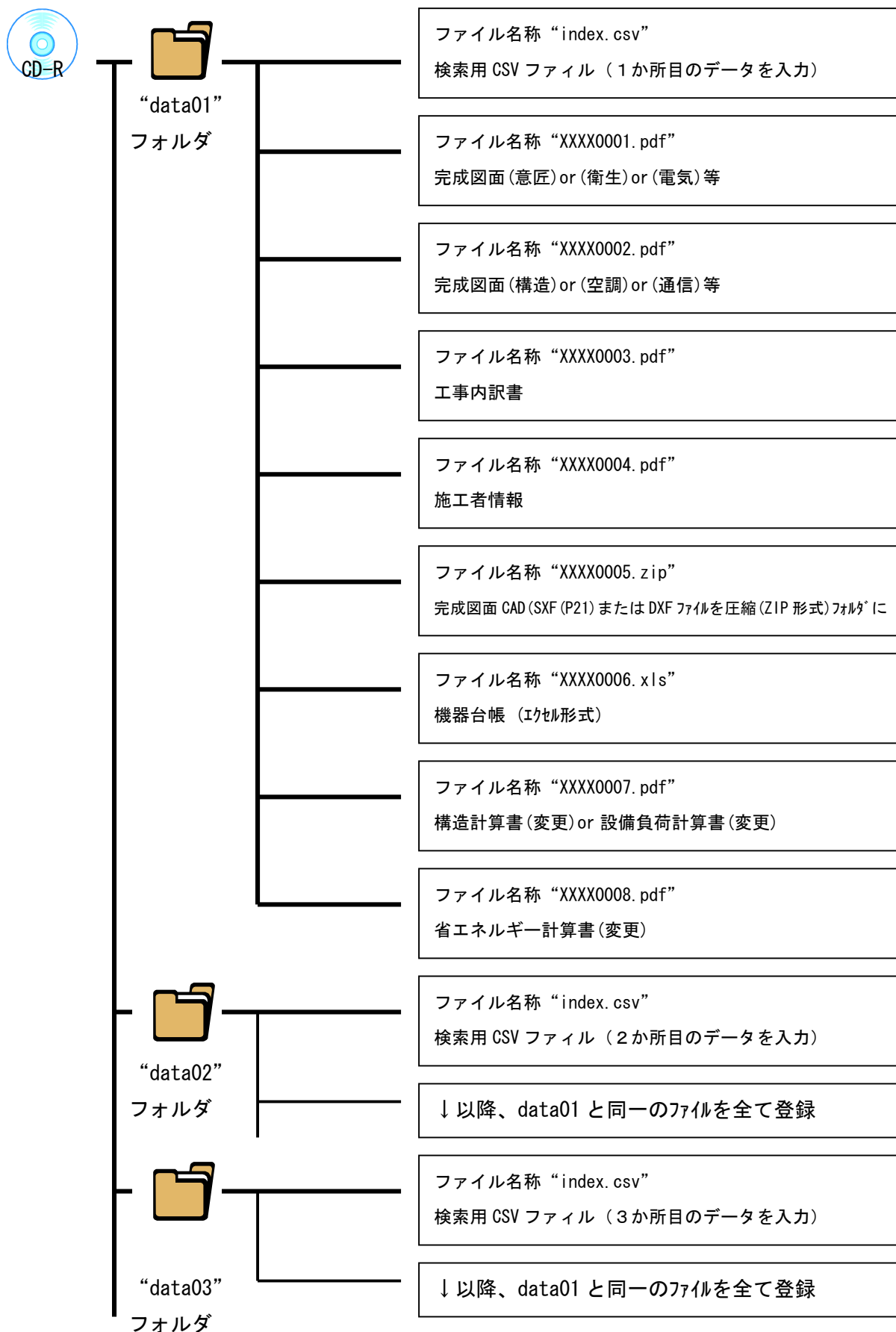
1 電子データの構成イメージ

（1）新築・改築・増築・耐震補強・大規模改修工事

① 工事場所（施設）が1か所の場合

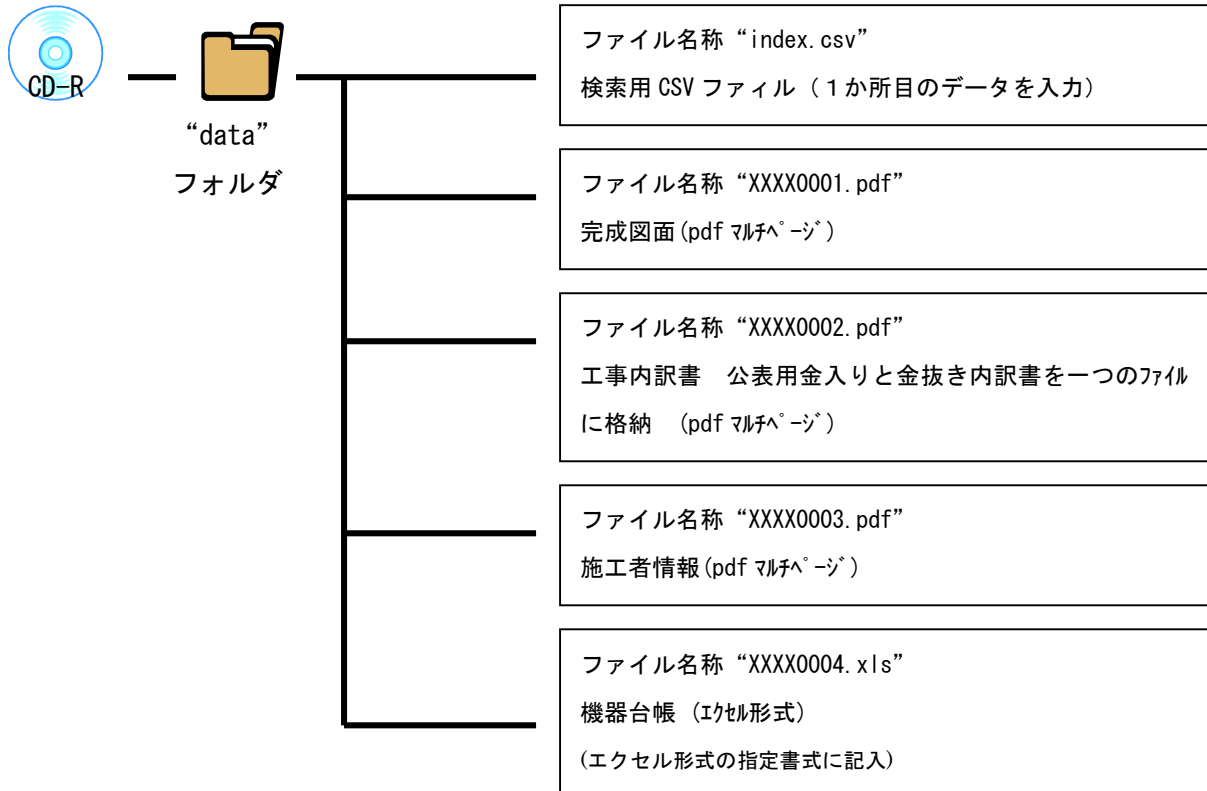


② 工事場所（施設）が複数の場合（記録メディアの容量が許す限り何施設でも登録可能）

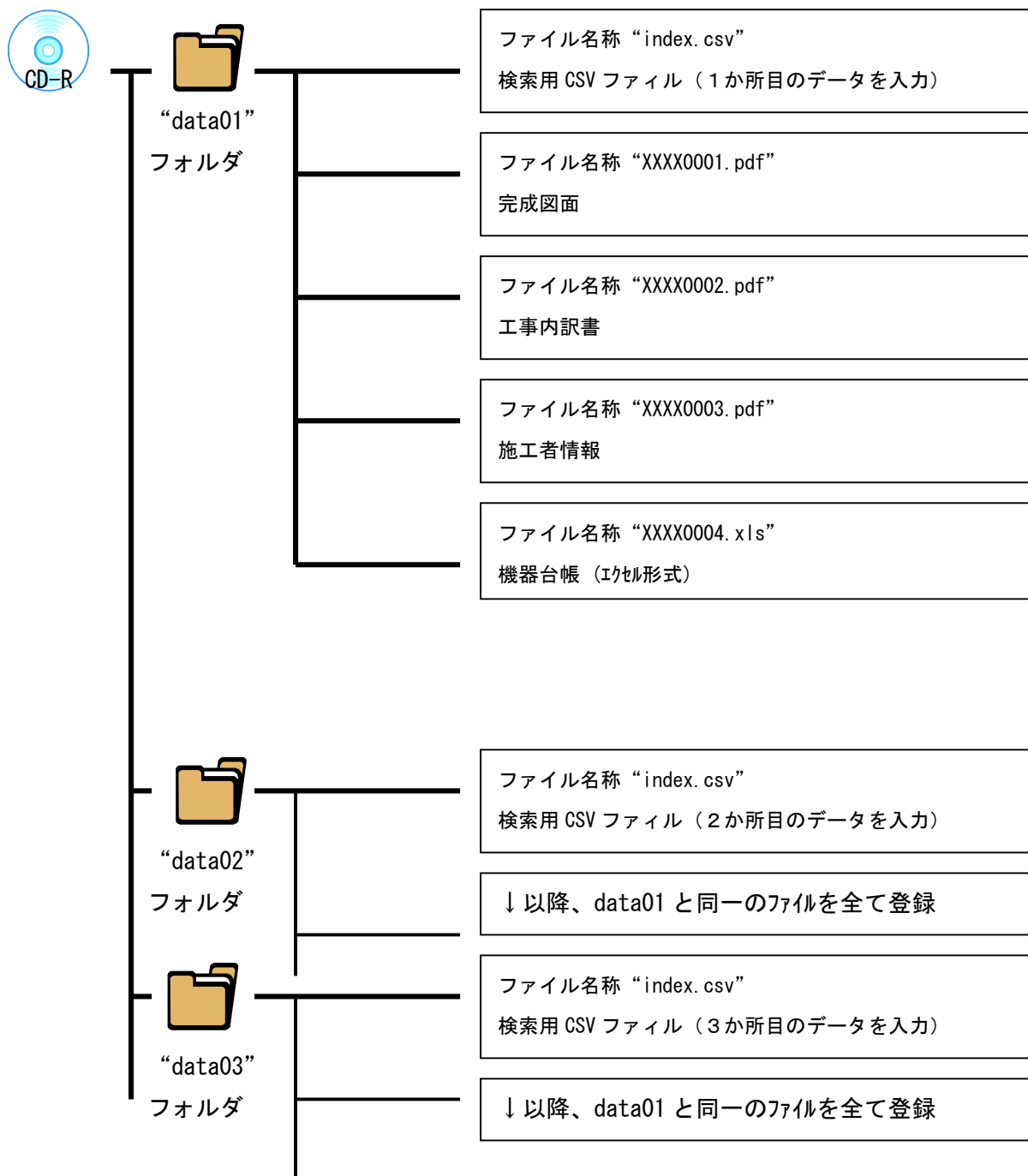


(2) 改修・補修・解体工事

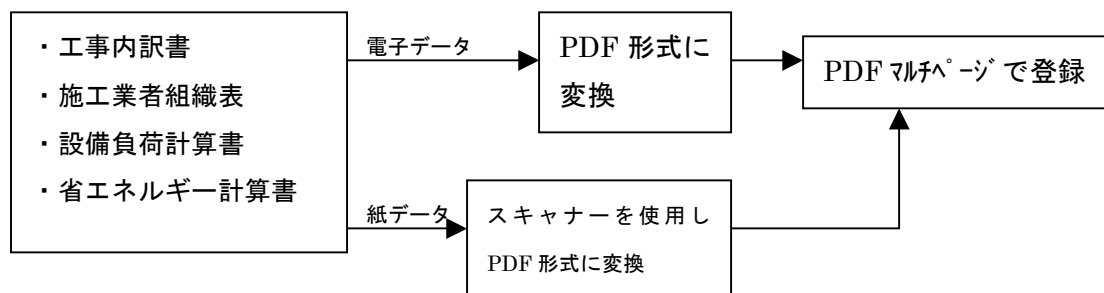
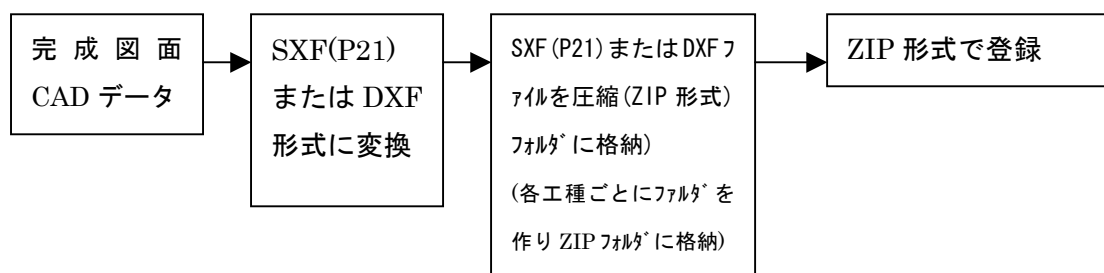
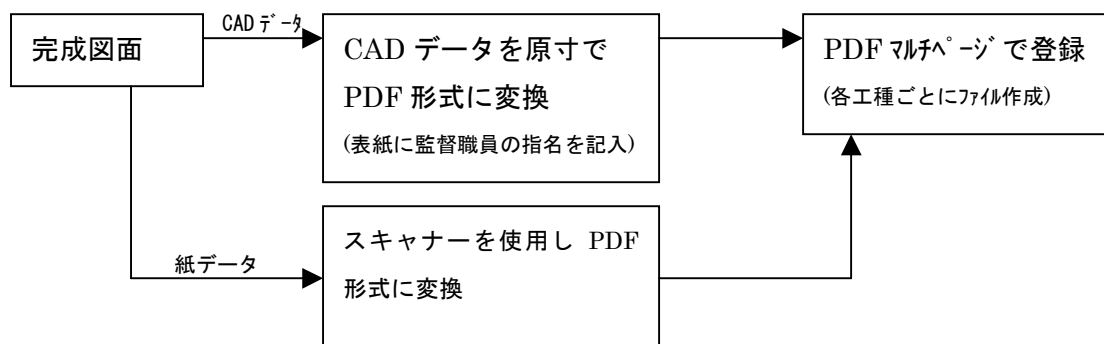
① 工事場所（施設）が1か所の場合



②工事場所（施設）が複数の場合（記録メディアの容量が許す限り何施設でも登録可能）



2 対象図書類の電子データ作成フロー

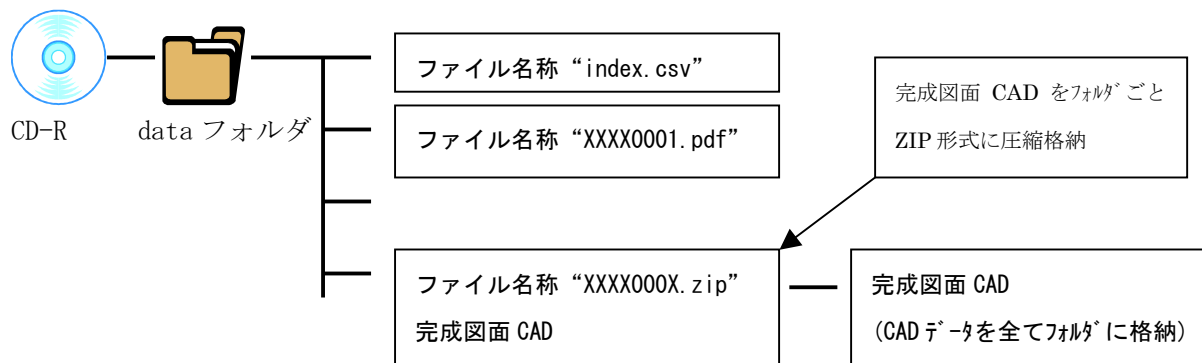


※ PDF 形式の仕様 解像度 400dpi

3 CADデータの作成方法

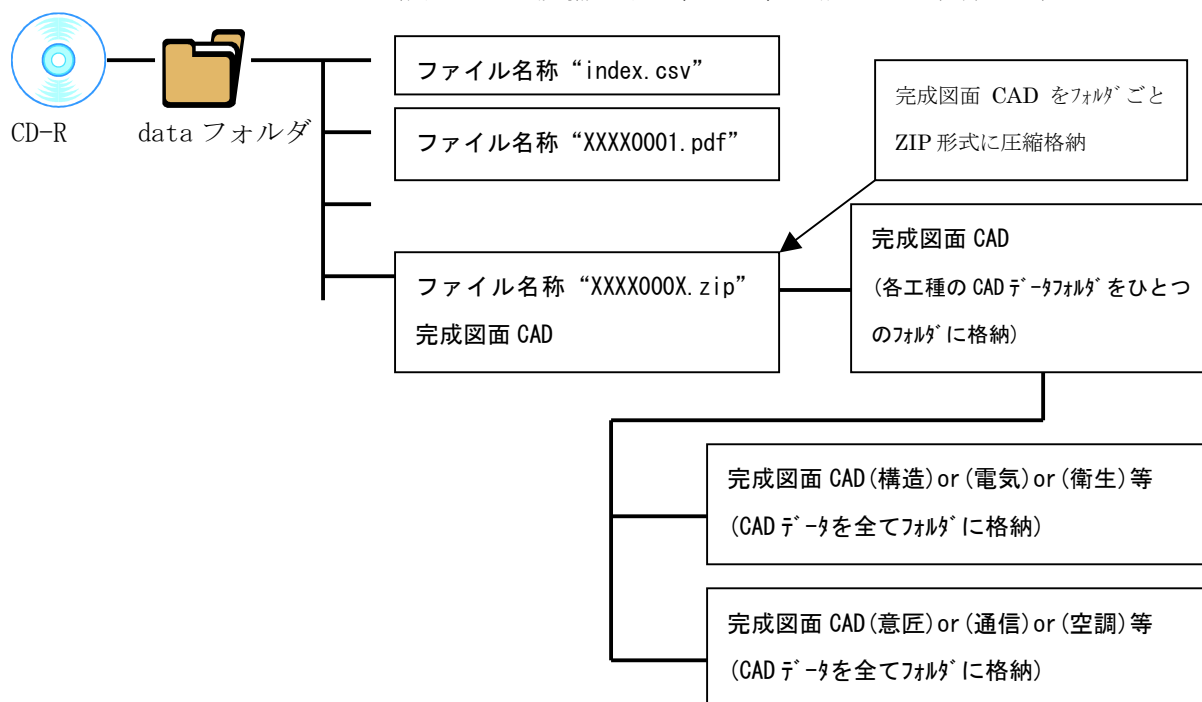
(1) CADデータの構成イメージ

① 1 工事で工種が 1 工種の場合 (例: 設備単独工事で衛生工事のみの場合など)



② 1 工事で工種が複数の場合（例 1：建築工事で、意匠、構造がある場合など）

（例 2：電気設備工事で、電気、通信がある場合など）



(2) CAD データ作成の注意事項

- ① オリジナル CAD データを SXF(P21)形式または DXF 形式に変換し、「完成図面 CAD」フォルダに格納する。1 工事で複数の工種がある場合は工種ごとにフォルダを作り「完成図面 CAD」フォルダに格納する。
- ② 「完成図面 CAD」フォルダを、フォルダごと圧縮 ZIP 形式フォルダに変換し、所定の名称(xxxx0000x.zip)を付与する。
- ③ CAD データは 1 図面 1 ファイルとする。
- ④ CAD データの名称は、完成図面の図面番号に合わせ、000,001,002...と追い番とする。

4 検索用 CSV ファイルの作成について

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
ヘッダ部	ファイル名称	所管局名	施設名	工事名	所在地	施設用途	工事内容	工事種別	着工年	完成年	施設コード	図面名称	ページ番号
データ部													
データ部													

(1) データ部の記入説明

- ① ファイル名称： 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 (8桁の数字＋拡張子で表記する。)
- ・ 完成西暦年号・局番号・ページ番号・拡張子
(例) 06020001 (2006年／総合企画局／1番図書)
 - ・ 完成西暦年号は完成した年の下2桁とする。
 - ・ 局番号は、別表1による。
 - ・ 図書番号は登録図書データごとに追番(0001～9999)とする。
 - ・ 拡張子は .pdf, .zip, .xls とする。
- ② 所管局名 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ③ 施設名 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ④ 工事名 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ⑤ 所在地 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ⑥ 施設用途 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ⑦ 工事内容 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ⑧ 工事種別 : 「電子データ作成依頼書」による。
- ⑨ 着工年 : 「電子データ作成依頼書」による(西暦年 数字のみ)。
- ⑩ 完成年 : 「電子データ作成依頼書」による(西暦年 数字のみ)。
- ⑪ 施設コード : 「電子データ作成依頼書」による(8桁数字とし7桁の場合は先頭に0を追加する)
- ⑫ 図面名称 : 別表2による。
- ⑬ ページ番号 : ファイル名称のページ番号と同一とする(0001～9999)。

(2) ヘッダー部の記述について

- ① CSV ファイルの 1 行目に検索項目名であるヘッダーを記述する。
- ② 必ず①～③の項目名で記述すること。
- ③ 記述にあたって、英数字は半角、漢字・カナは全角で入力する。

(3) データ部の記述について

- ① 図面名称は、半角「二重引用符」" "で囲んで入力する。
- ② CSV ファイルの 2 行目以降に記述する。
- ③ 英数字、中黒「・」及びカッコ()は半角とし、漢字・カナは全角にて入力する。カンマ「,」は使用しない。
- ④ 各項目の区切りは、半角カンマ「,」を入力すること。

5 CD-R について

- (1) データは、1 工事につき CD-R 1 枚とする。
(複合・複数施設の場合)
 - ① 複合及び複数施設の場合、データは各施設ごとにフォルダを作成しデータを格納する。([data01] [data02] …)
 - ② 各施設毎のデータフォルダには、すべて同一の図書データを格納する。
 - ③ CSV ファイルは各施設の固有の所管局名、施設名、所在地、施設用途、施設コードを入力し各フォルダごとに作成すること。
- (2) CD-R は標準品又は同等品以上の品質のものを使用する。
- (3) CD-R は提出時点で最新のウイルス対策定義によりチェックをすること。
- (4) CD-R の書込みはトラックアットワンスでおこなうこと。

6 その他の事項

- (1) 内容に不明な点があれば、監督職員と協議することとする。
- (2) 提出された CD-R にファイル内容の誤入力が判明した場合は、速やかに訂正し、再提出するものとする。
- (3) 提出された CD-R は返却しないものとする。
- (4) 提出された電子データの著作権は川崎市に帰属するものとする。

別表 1

局番号	所管局名	局番号	所管局名
01	総務局	11	交通局
02	総合企画局	12	消防局
03	財政局	13	教育委員会
04	市民局	14	川崎区役所
05	経済局	15	幸区役所
06	環境局	16	中原区役所
07	健康福祉局	17	高津区役所
08	まちづくり局	18	宮前区役所
09	建設局	19	多摩区役所
10	港湾局	20	麻生区役所
		21	病院局

別表 2

① 新築・改築・増築・耐震補強・大規模改修工事

対象図書データ	図面名称
完成図面 建築工事	完成図面(意匠)or 完成図面(構造)等
完成図面 電気設備工事	完成図面(電気)or 完成図面(通信)等
完成図面 機械設備工事	完成図面(衛生)or 完成図面(空調)or 完成図面(EV等)
工事内訳書	工事内訳書
施工者情報	施工者情報
完成図面 CAD データ	完成図面 CAD
機器台帳	機器台帳
構造計算書	構造計算書(変更)
設備負荷計算書	設備負荷計算書(変更)
省エネルギー計算書	省エネルギー計算書(変更)

② 改修・補修・解体工事

対象図書データ	図面名称
完成図面	完成図面
工事内訳書	工事内訳書
機器台帳	機器台帳
施工者情報	施工者情報